

# 平成 27 年度「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」

## 「田野畑村学校支援地域本部」

### 取組事業名

- ・ 学習（体験学習等）支援
- ・ 環境整備支援
- ・ 学校行事支援
- ・ 広報の発行
- ・ 郷土芸能などの伝承活動支援
- ・ 中学生の学習支援
- ・ 地域教育支援

### 岩手県田野畑村

#### 学校名

- 田野畑村立田野畑小学校
- 田野畑村立田野畑中学校

※該当する内容に○

活動内容	学校支援	学習支援	部活動指導	美化・環境整備	登下校指導	学校行事・その他
		○		○		○
	放課後等支援	学習支援	体験・交流活動	遊び・スポーツ	学童クラブとの連携	その他
	学校と地域の協働学習	復興学習	防災教育	伝統文化・芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他
			○	○	○	
家庭教育支援	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他	
地域課題に応じた額習	高齢者支援	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他	
	○		○		○	

### 取組概要

- 6地区に1名ずつコーディネーターを配置し、地域との連絡調整を行う。  
その中から更に、小学校窓口担当2名、中学校窓口担当1名、本部（広報及び連絡）担当3名と役割を兼任し、学校との連絡調整も行う。
- 学習（体験学習等）支援 … 学校の要望を聞き、生活科、家庭科、社会科等の実習におけるボランティアやゲストティーチャー、連携事業所等との連絡調整を行い、負担軽減を図る。
- 郷土芸能等の伝承活動支援 … 練習日の設定や練習会場の手配、保存団体と家庭の連絡調整、披露の場の確保等による広報活動・意欲喚起を行い、伝承に努める。
- 環境整備支援 … 学校図書館整備、花壇整備等、学校側の要望に対応するためのボランティアとの連絡調整
- 中学生の学習支援 … 学習アドバイザー（塾講師）による学習指導の企画運営を行い、生徒の学力向上を目指す。
- 地域教育支援 … 地域住民の知識や経験、特技を活かした学校支援活動を通して、住民が自らの学習成果を活かす場とするとともに、住民と学校・児童生徒、及び住民間の交流の促進につなげる。
- 広報の発行 … 学びを通じた地域コミュニティ再生支援事業として、年間6号発行予定。  
学校地域支援ボランティアだより「あっぱれ」を定期的に発行し、学校支援活動や田野畑村教育振興運動の活動、地区活動、世代間交流等の活動報告を、広報を通じて村民一人ひとりに周知する。

# 平成 27 年度「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」

## 事業成果

### 【学習（体験学習等）支援】

- 小学校…近隣の農家さんに田畑を借りて、大豆（3学年）や米（5学年）等それぞれの学年に応じた農業体験を支援。また、ゲストティーチャーや連携事業所に依頼し、収穫した作物で豆腐、きらずだんち、豆しつとぎといった郷土食の実習支援を実施。町探検学習（2学年）では、児童の安全確保と教員の補助のため、支援ボランティアを要請。今年度の新しい取り組みとして、社会科の授業（3学年）では、ゲストティーチャーを招き、郷土芸能にまつわる歴史や各地区に言い伝えられる伝説を学ぶ支援を行った。
- 中学校…体育祭の運営ボランティアの依頼や職場体験の企業依頼、文化祭の運営補助を実施。

### 【郷土芸能などの伝承活動支援】

- 練習日の設定や練習会場の手配、保存団体と保護者との連絡調整、披露の場の確保などを支援。  
菅窪鹿踊（練習 21、発表 3）、甲地剣舞（練習 17、発表 3）、大宮神楽（練習 32、発表 4）、  
弥五兵衛太鼓（練習 44、発表 7）、島越よさこいソーラン（練習 2、発表 3）



ゲストティーチャーを招いた授業

（3年 社会科）

郷土芸能 大宮神楽  
（羅賀地区）



### 【環境整備支援】

- NPO法人「桜 on プロジェクト」等の協力のもと、植樹等の体験活動支援を実施。
- 中学校が主体となり、小学校と協同で行っている「花いっぱい運動」や、児童・生徒が地区施設の清掃、歩道のゴミ拾い等を行う際の、学校と地域の連絡調整を実施。

### 【中学生の学習支援】

- 学習アドバイザー（塾講師）によるパソコンを活用した土曜日学習指導の企画運営。

### 【学校行事支援】

- 今年度から、小学校の運動会と学習発表会で披露していた郷土芸能を一日にまとめ、第一回田野畑小学校文化芸能発表会として開催。プログラム構成や事前準備を学校と協同で行い、運営支援も実施。
- 田野畑中学校の体育祭、文化祭の運営ボランティア要請支援を行った。

### 【地域教育支援】

- 児童・生徒を対象とした、「サケ稚魚放流体験」「ワカメの芯切り・ポイル体験」「ウニ採り体験」「大漁を祈願した絵馬づくり」「餅つき」「塩づくり体験」「小正月伝統行事なもみ」等、地区の特性を踏まえ、地元の企業、団体が協力し、地域住民の知識、経験、特技を活かした活動を支援。  
また、「縄文土器製作・野焼き体験」「トンネル見学会」等、村内外の住民、ボランティア団体、企業等が協力し、自分の住んでいる村の「昔と今」を学ぶ活動支援を行った。

### 【広報の発行】

- 今年度は第6号まで発行することができた。  
学校での取り組みや、地域での取り組み等、様々な所で子どもたちが活動し、地域の力が関わっていることを報告、周知することができた。

## 課題と今後の取組

### 【課題】

- 少子化・高齢化・過疎化が進む中、地域と学校の相互性が薄れてきている。  
（住民の声…統合し地区に小学校がなくなり、学校が遠い存在になった。何かの形で協力はしたいが学校に入りづらい。交通手段がない。等）
- 学校行事、地区行事、スポーツ少年団等の活動が活発になる反面、郷土芸能の披露、存続が危ぶまれている状況下にある。
- 年度末、年度初めに、学校や地区、次期担当者との引継ぎを円滑にし、スムーズに始動できる体制をつくる。

### 【今後の取組】

- 地区にとらわれず、他の地区との交流事業や体験事業を実施し、体験・経験させることで、村全体の特産や良さ、繋がりを実感させる事業を展開する。
- 住民が来校に抵抗があるのであれば、地区施設でも活動できるよう取り組む。
- 中学校の支援として、学校行事だけでなく、授業にもかかわった支援を考案し行う。